

平成 26 年 4 月 30 日
沖縄電力株式会社

平成 25 年度決算について

1. 販売の状況

平成 25 年度の販売電力量は、電灯や業務用電力において新規お客さまによる需要増があったことに加え、夏場の気温が高めに推移したことなどにより、電灯が前年度に比べ 3.6% 増の 29 億 55 百万 kWh、電力が 3.1% 増の 46 億 1 百万 kWh となり、合計では、前年度に比べ 3.3% 増の 75 億 56 百万 kWh となりました。

2. 収支の状況

平成 25 年度の収支については、収入面では、電気事業においては販売電力量の増加や燃料費調整制度等の影響により、売上高（営業収益）は前年度に比べ 128 億 26 百万円増（7.7% 増）の 1,792 億 66 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、修繕費などの減少があったものの、燃料費、減価償却費、他社購入電力料、固定資産除却費等が増加したことから、営業費用は前年度に比べ 131 億 2 百万円増（8.3% 増）の 1,705 億 72 百万円となりました。

以上の結果、営業利益は 2 億 75 百万円減（3.1% 減）の 86 億 93 百万円となりました。

また、経常利益は 6 億 29 百万円増（10.0% 増）の 69 億 36 百万円、当期純利益は 4 億 12 百万円増（9.5% 増）の 47 億 31 百万円となり、8 年ぶりの増収増益となりました。

なお、当期の期末配当金については、1 株あたり 30 円を株主総会にお諮りし、中間配当金とあわせて、1 株当たり年間 60 円を予定しています。

3. 平成 26 年度の業績見通し

平成 26 年度の電力需要については、前年度に比べ 0.1% 増の 75 億 64 百万 kWh を見込んでいます。

売上高については、電気事業において燃料費調整制度の影響などによる電灯電力料の増加や再生可能エネルギーの固定買取額の増加に伴う再エネ特措法交付金の増加が見込まれることから、前年度に比べ増加する見通しです。

一方、費用については、電気事業において、固定資産除却費や減価償却費の減少はあるものの、発電電力量の増加、円安の影響などによる燃料費の増加、再生可能エネルギー買取量の増加に伴う他社購入電力料の増加などが見込まれることから、前年度に比べ増加する見通しです。

このような状況から、平成 26 年度の業績は、売上高は 1,868 億円、営業利益は 85 億円、経常利益は 63 億円、当期純利益は 47 億円を見込んでいます。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

○平成 25 年度決算の概要

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 25 年度 (実績)	平成 24 年度 (実績)	増減	増減率	
電 灯	2,955	2,851	+104	+3.6%	
電 力※	4,601	4,463	+138	+3.1%	
合 計	7,556	7,314	+242	+3.3%	
参 考	民生用需要	6,256	6,051	+205	+3.4%
	産業用需要	1,300	1,263	+37	+3.0%

※電力には特定規模需要を含む

■連結経営成績 (8年ぶり増収増益)

(単位：百万円)

	平成 25 年度 (実績)	平成 24 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	179,266	166,439	+12,826	+7.7%
営 業 利 益	8,693	8,969	△275	△3.1%
経 常 利 益	6,936	6,307	+629	+10.0%
当期純利益	4,731	4,318	+412	+9.5%

※端数処理の関係で増減が合わない箇所があります

○平成 26 年度業績見通し

■販売電力量見通し

(単位：百万 kWh)

	平成 26 年度 (見通し)	平成 25 年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,963	2,955	+8	+0.3%
電 力※	4,601	4,601	+0	+0.0%
合 計	7,564	7,556	+8	+0.1%

※電力には特定規模需要を含む

■連結業績見通し比較 (2年ぶりの増収減益)

(単位：百万円)

	平成 26 年度 (見通し)	平成 25 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	186,800	179,266	+7,533	+4.2%
営 業 利 益	8,500	8,693	△193	△2.2%
経 常 利 益	6,300	6,936	△636	△9.2%
当期純利益	4,700	4,731	△31	△0.7%

※端数処理の関係で増減が合わない箇所があります